

問い

スマホでの予約や決済が難しい方の為に、利用時の操作に関する講習会を、定期的に中央公民館や各区公民館でできないか。



答え

日程や実施方法について調整してまいりたい。

通学バスについて

問い

小中学校の児童生徒で交通の便が悪い茂沢区、杉瓜区においては、高低差もあり集落も離れており防犯上も危険な通学路である。小中学生のタクシーは朝7時台の早い時間帯であることから利用者が限定されるが、保護者が直接予約を行い、デマンド交通での通学はできないか。



答え

デマンド交通の特性として定時定路線ではないため、他の利用者と乗り合いとなることもあり、登校時間に間に合わなくなることも想定される。また、過去2回の実証実験では朝早い時間帯から運行していたが、利用者が少なくデマンド交通としての目的が果たせない状況が見られたことから、運行時間の見直しを検討している。小中学生の通学用タクシーについては、教育委員会で契約し、運行している。小学生は朝の会8時25分に間に合うように7時45分発、中学生は信濃追分駅発7時28分発の循環バスに乗り換えられるように7時10分発となっており、適切な時間設定と考えている。以上のことから、通学にデマンド交通を利用することは目的にそぐわないため、既存の通学用タクシーを利用していただきたいと考えている。

問い

2回の実証実験の中で朝の早い時間帯が少ないということだが、運行前の時間帯で、一旦はこのデマンド交通をデマンド通学バスという形で走らせ、定時運行の時間帯には通常のデマンド交通になるということも考えられないか。今回の実証実験の中にモデルコースやケースとして茂沢を入れて試すことができるのではと思うが、全く考えられないのか。

答え

中学生の通学用タクシーを教育委員会のほうで準備しているので、今回のデマンド交通の実証実験の中に含めることは難しいと考えている。

問い

議会での住民アンケートでは、茂沢区・杉瓜区・成沢区・塩沢区からの要望（自由記述）が多かったが、町所有のマイクロバスを通学バスに活用できないか。

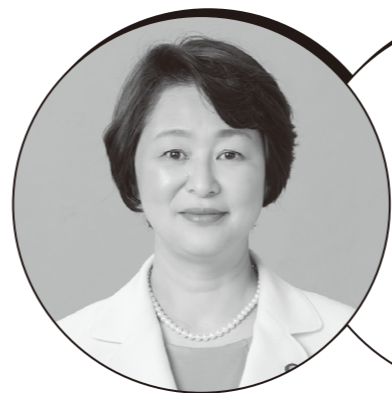
答え

町所有のマイクロバスは2台あるが、通学バス活用については、距離的にも広範囲にわたっており、通学時間が同時刻であることから、使用は困難。教育委員会で所有するマイクロバスは生涯学習課所管、町内の社会教育活動や生涯学習の団体等に使用することを主たる目的として運用をしている。使用団体の中には、早朝から夕方まで使用する場合や宿泊を伴う場合もあるので、学校の登下校用通学バスとして平日の朝や夕方に常時使用することは、本来の目的である社会教育活動の妨げとなる。また、保健福祉課所有のマイクロバスは老人福祉センターで使用しており、高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションを主たる目的として運用しているので、学校の通学に使用することは高齢者福祉の事業においても妨げとなると考える。



さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135



皆様に再び議会に送って頂き、4期目がスタートしました。又この度、副議長という大任も拝しました。今後とも皆様の為にしっかりと働いて参りますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、6月会議は皆様から多くご要望を頂きました「高校生への通学支援」「デマンド交通の今後」ということで質問致しました。

又補正予算の中には、公明党清水県議との連携で軽井沢町公明党議員団として提案して参りました「がん患者さまのアピアランスケア助成制度」が6月会議で議決されましたのでご報告致します。



©KOMEITO

アピアランスケア助成事業がスタート

- 対象：**①がん診断を受け、がん治療（手術・薬物治療・放射線治療等）を過去に受けた方、又は現在受けている方
②R5年4月1日以降に対象補整具を購入した方
③購入日から申請日まで軽井沢町に住所のある方
→①②③全てを満たす方が対象（年齢性別はなし）
- 対象補整具：**頭髮補整具・乳房補整具・補整下着・補整パッド・専用入浴着・人工乳房（人工乳頭を含む）＊乳房再建手術は対象外。エピテーゼ（がん治療に伴う手術等により欠損した部位を補完する人工物）＊人工乳房は乳房補整具に含む
- 助成：**購入費用の2分の1。頭髮補整具：上限5万円・乳房補整具：上限2万円・人工乳房を含む場合は上限10万円
→申請など詳細はHPへ

軽井沢町役場 HP



2023年6月会議 一般質問から

「高校生への通学支援について」を質問!!

3月会議で町独自の無返還の奨学金支援制度も訴えましたが、当町の子育て支援は未だ充分とは言えず、中学生や高校生の保護者の皆様から、子どもの成長と共に支出は増加するものの収入が伴わず、高校生の通学支援を訴える声が多く私の元に届きました。特に高校生の保護者からはもちろんのこと、将来を心配する中学生の保護者からの声が多かったことから質問しました。

問い

私の調査では、(軽井沢駅から乗車)
しなの鉄道や小海線での高校通学者定期代(高校生割引)
・上田駅まで→年間 180,000 円
・中込駅→年間 199,720 円
・臼田駅→年間 212,360 円
私立高校バス通学→1ヶ月約 2 万円(年間 24 万円)
自転車通学→自転車やヘルメットやメンテナンス等
Ipad 代金 8 万円・運動着・上履き・クラブ活動等々
このように家計を圧迫している実態がある。
高校生通学支援をしている先進自治体例として、
・御代田町→高等学校等に通う生徒全員に月額就学支援
・兵庫県神戸市→交通費が一定額を超える場合に補助
・岡山県京義町→合計特殊出生率 2.95 を達成。高校生の就学支援は年間 135,000 円
この背景には、少子化や子育て世代の経済的負担を少しでも軽くしてあげたいとの思いがあるが、当町の考えは。



©KOMEITO

答え

御代田町には高校がなく、町外の高校に通わざるを得ない状況にあり、通学費等支援を実施しているものと認識をしている。
町には軽井沢高校があり、でき得る限り町内の高校に進学してもらえるよう現在、軽井沢高校の魅力化を支援している。
これまで町は、給食食材費無償化、医療費無償化、子育て支援センター充実、放課後子ども教室設置、中間教室設置など様々な子育て世帯への支援策を講じてきている。
昨今の物価高に直面している世帯への経済的負担は大きく、高校生の保護者に限らず多くの方々が様々な支援を必要としていると捉えているので、現在のところ高校生の通学費に特化した支援ではなく、多くの方々へ幅広い支援策を考えていく。
御代田町の補助事業は既に4月から始めているので、課題が見つかると思う。
先進自治体の取り組みもしっかりと研究はしていく。



イラスト：斉藤暁雄



©KOMEITO

「デマンド交通の今後について」を質問!!

2021 年 3 月議会より町へ政策提言を行い、その後長期振興計画に「デマンド交通の検討」という文言が入り、実施計画が策定され、今年 3 月末には民間企業による 2 回目の実証実験も終了しました。
住民の方々から「今後どうなるのか」という問い合わせが多いことから質問しました。



問い

民間企業による実証実験が終了したが、本稼働に向け今後町はどのように関わるのか、その方向性は。

答え

デマンド交通は、現在 3 回目の実証実験にむけ業者と協議をしている。
※今年 10 月初旬～来年 3 月末まで実証実験・本稼働の次期はまだ決めていない
3 回目の実証実験では、スマホでの予約やキャッシュレス決済が難しいという方のため電話予約や現金決済を導入し、その効果を検証することを目的として、町が事業に参画するよう、この 6 月会議で関係経費の補正予算を計上(議決済み)この実証実験の結果や他地域での運行方法を参考に、軽井沢町の交通課題等をしっかりと見極め、どのようにすれば効率のよい運行となるか、またどのような運行方法のデマンド交通が軽井沢町に向いているのか、本格運行に向け検討していく。
電話予約及び現金決済については、住民で事前登録をした方に限り利用可能な形で導入に向けて準備を進めている。
※ウェブ予約、電話予約は当日予約のみ、受付時間は 8 時～18 時 30 分まで運行時間は 9 時～19 時までを予定

問い

実証実験で実施していたスマホでの当日予約や決済の他に、議会からの政策提言の中に織り込んだ「現金決済や電話オペレーターでの事前予約」は導入されることになったのか。



答え

事前予約ができない理由は、当日、事前に予約がいっぱいになってしまうと、当日乗りたい方が予約できないという苦情が多く寄せられていることから、当日予約のみということで進めさせてもらう。
この実証実験を受け検討していく中、事前予約も必要ということで声が上がってくれば検討していきたい。
実証実験で、現金決済も進めていくが、現金決済の方がどれだけいるのかということも検討材料としていく。

問い

事前予約が無理なら、場合によっては町直営でドライバーや車を確保しての運行も考えられないか。

答え

別に運行する予定については、今回の実証運行を受けて検討していくことになるので、現時点では答えられない。

問い

支払いの部分に外出支援としての「すこやかおでかけ券」の活用は。

答え

今回初めて現金決済を取り入れる事となり、複数の決済方法を導入することは、運転手の事務が煩雑となり、現金の取り違いや遅延、ひいては事故の原因にもなりかねないので、活用は難しい。